

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	モンキー'Sスクール		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	固定化されないプログラム内容を提供するために、利用児様の満足度を高める事ができる様に、プログラム内容の考案を行っている。	利用児様からの要望を取り入れる機会を増やし、指導員と話し合いを行いながらプログラムを進行している。 言葉で伝えることが困難な利用児様には、絵カードを使って取り組みを選択できる場面を作り活動意欲を高め参加できる様に配慮を行っている。また、運動プログラムでは脳科学についての専門知識をスタッフ一同身につけ、利用児様一人ひとりに合わせた独自の支援プログラムを進行している。	プログラム内容がマンネリ化しない様に、日々の活動内容を工夫し活動への意欲を高め楽しみを持ち参加してもらえる様に、利用児様のしたい事を尊重し固定化されないプログラムの考案を行う。
2	多彩な余暇活動・体験活動の提供を行っている。	利用児様に多彩な余暇活動や体験活動に参加していただく中で、様々な物事に触れ興味の幅を広げることや、有意義な時間を過ごす手段の幅を広げる事ができる様にプログラムの考案を行っている。	今後も、様々な体験や楽しみを感じる余暇活動の提供を行う事ができる様に、様々なものに触れ体験できる場所を模索し利用児様の経験に活かす事ができるように支援する。
3	避難・防災・防犯訓練等の実施内容を強化している。	予測が難しい災害等に対する危険予測を高め、実際に起こりうる状況を想定し訓練の実施を行っている。	・利用児様に実際の状況と近い体験していただくことで、万が一災害が起こった際に冷静かつ迅速に行動に移す事ができる様に訓練を重ねる中で、参加していただける人数を増やす事ができるように、周知方法の改善を検討する。 ・防犯対策について、職員一同が護身術の指導を受けることを検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の子ども達との交流の場を提供できる機会が少ない。	イベントなどで地域の子ども達と交流を図る機会はあるが、児童クラブや児童館などの交流先が無く、交流を図る事ができていない。	平日は難しいが、長期休暇中に近隣小学校の学童保育との交流などを検討していく。 また、来年度にはフリースクールを開設する予定をしているため、フリースクールに通っていただくお子さまとの交流も検討していく。
2	保護者様が交流を図る機会としてイベントの開催を行っているが、密な交流を図る事ができていないため改善する必要がある。	参加していただく中で、交流を図る場面が少なく定期的な参加に繋がらない。	親子イベントや保護者様の交流の場を提供できる様に、内容を十分に伝え参加しやすい場を提供する。
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2025年2月13日

事業所名 モンキー'Sスクール(児童発達支援)

回収数1

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	1				
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1				
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	1				
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1				
	⑥ 放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1				
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1				
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1				
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	1				
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	1				
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1				
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	1				
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	1				

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 令和7年2月13日

事業所名 モンキー'Sスクール

回収数15

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1		配置人数等は全体を見ている訳でも、知識がある訳でもない為わからないが、我が子を見ている限りでは不足があるとは思わない。	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	2		知らない	事業所内の段差は無く、バリアフリー化されている。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	15				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15				
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	5	2	分からない	地域の親子も参加できるイベントを行い交流できる機会を設けているが、児童クラブなどの交流がないので近隣の学童保育との関係を築き、交流を図る機会を作る事が出来るように検討していく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14		1	交通費は最近、明細書が付くようになりましたが、宿泊は費用のみで明細がなく何にどれだけ費用がかかるか説明が無い。	宿泊による明細については、今後詳しい内容を記載し、プログラム内容や費用を踏まえて利用のご検討をしていただけるようご案内いたします。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	6	1	分からない	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	12	3		・苦情に対しては迅速に対応しているが、適切かどうかは疑問が残る。 ・そういった場面になったことがないのでわからないが、苦情担当者が明確になっているなどの安心感はある。	事業所として、最善の対応方法を検討し迅速な対応を努めさせていただきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15				
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	2			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	1		・事前に保護者への許可も無く、身体検査と称して、言葉で伝えられない子供を対象にトイレでスタッフ2人きりで下着以外の裸を見た事に対して、私も主人も不安に感じています。怪我が無いかの確認との名目ですが、保護者側からすると何かされてないかと疑ってしまう行動です。事後報告だった事も非常に残念です。	言葉を発する事が困難な利用児様に対して見守りを手厚く実施している中、事業所で他の利用児様との接触や転倒が無い中、帰宅後利用児様の身体に傷が見つかりご連絡を頂く事が過去に数回有り、学校なのか事業所でできた傷なのか分らず親御様も度々不安に感じられる様子を何度も見受けられ、どこで着いた傷なのかを明確にする為に、どのような対策が必要なのかをスタッフ間で話し合いを行い、どの場所であった傷なのかを親御様に伝え少しでも安心して頂けるようにと思い実施した内容となります。今後、利用児様に対して、事業所からの提案や対応方法など、随時、親御様に相談を行い情報共有をさせていただき事を徹底させていただきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
モンキー'Sスクール		令和 7年 2月 13日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じて、1室に対しての人数を配慮し活動を実施している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用児様の人数に合わせて、配置人数を変更しています。規定よりも多い人数を配置している。	各学校送迎時に限り、事業所内での職員の配置が手薄になる事がある為、利用児様の居場所の確保やスタッフ配置を状況に合わせて行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事業所内の段差は無く、バリアフリー化されている。	行動手順や気持ちカードなど利用児様の手の届く場所にあることで、紛失してしまう事が多々あるため、掲示場所の改善や提示方法の改善を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		安全かつ清潔な環境を整えています。	運動プログラムで使用する用具などは、今後も定期的に点検を行い安全管理への徹底を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		静養室や個室を提供し、利用児様の要望に応じて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		各業務においてPDCAサイクルを取り入れ、必ず振り返りを職員で行い次回へと繋げていっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年アンケートを実施し、親御様からの意見収集・改善を行っている。またホームページにも掲載している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングなどでは意見交換の場を作り、支援の改善に繋げている。	職場内で上司にも意見を伝えやすい環境づくりに努め、今後も風通しの良い環境整備に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第3者委員会の設置を行っていない。	現在は行っていないが、前向きに検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		1年での研修の計画を立て、毎月実施し普段の支援に繋げられるよう心がけている	社外研修に参加する機会が少ないため、今後は社外研修への参加も積極的に検討を行う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HPにて支援目的や内容等を掲載している。	令和6年度中に義務付けられている、支援プログラムの作成、及び公表については、3月中旬に作成・公表を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者の方、利用児様の短期目標、長期目標もスタッフ一同連携をとりニーズを実施している。言葉での意思表示が難しい利用児様に対しては、絵カードなどを用いて本人様の意向を把握できる工夫を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ間で対象となる利用児様の情報共有を行い、多方面からの視点を把握した上で計画作成を行なっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		定期的に親御様とも話をする機会を儲け、様子を共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて項目を設定し支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		活動予定を1ヶ月前に作成し、その日に見合った支援内容を考えて行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日同じ取り組みにならないようにプログラムに変化を入れて利用児様に楽しく取り組んでもらえるよう工夫を行なっている。	利用児様の興味や好きなことに合わせ、プログラムに参加する目的を明確にし楽しんでもらえるように、今後も内容の考案を行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		課題や運動・SSTなど、利用児様の適応能力に合わせて1対1での支援も取り入れプログラムを進行している。時には複数人やチーム参加など変化を入れながら支援を行っている。	複数人の中での参加が難しい利用児様もいる為、その場で臨機応変な対応を行える様に、職員間で事前ミーティングを行い共通理解を図っておく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ず、その日にスタッフ会議を行い、利用児様が来所される前に注意点など再確認し、役割分担を再確認する。	活動の目的を共有しプログラムの進行を行っているが、その日の利用児様の様子に応じて、スタッフ一人一人が臨機応変な対応が出来る様に支援力を高めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員同士、共有を徹底し振り返り、子ども達の変化に迅速に対応し、その都度話し合いや改善を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		共有ツールに気になる事などを書いて改善につなげています。記録をした上で子ども達の変化に対しても話し合いを随時、行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			余暇の提供を実施する中で、施設利用料や交通費の諸経費が重なり利用者負担が高騰する為、料金を踏まえた上で行き先や目的を吟味していく必要がある。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		プログラムの中で、自己選択時間を取り入れている。言葉での意思表示が難しい利用児様に対しては、絵カードなどを用いて選択できる手段を考え実施を図っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から学校や相談支援員様との連携を図り、サポート体制を整えている。	利用児様に応じて関係機関との繋がりはさまざまであるが、医療機関との繋がりが少ないため、必要に応じて連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の下校時間、行事等を学校側、保護者の方と共有し適切に行っている	下校時間等については、親御様との連携を求められる事が多く、連携体制の整備を整える必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用児様が通っていた保育園や幼稚園との連携を図り情報共有を行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			相談支援員の方との連携が多く、セルフプランの利用児様に対しては、学校との連携を図りつなぎあいシートの活用も検討している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターとの連携を図る機会が少ないため、研修などの受講を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブとの交流はないが、地域の親子も参加できるイベントを行い、交流できる機会を図っている	近隣の学童保育との関係を築き、交流を図る機会を作る事ができる様に検討していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの変化や状況を保護者の方、学校等と共有し利用児様に応じて必要な支援を取り組んでいる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部講師に来ていただいたり、動画配信や文面等の配信を行いペアレントトレーニングを行なっている。	外部講師の講習の開催から期間が空いている為、外部講師を招いて実践的な学びの場を提供する事を検討する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には、書類を通じて必ず説明し、同意も得ている。疑問に感じた際にも迅速に対応している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時に定期的に保護者と話し合いを行い、家庭連携を図り支援と対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		毎年親子イベントを開催し、親御様にも参加して頂き交流の場として保護者の方との連携にも繋げている。	親子で参加しやすいイベントを考え、たくさんの方々に交流していただけるように改善を行う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		速やかに上司への連絡、スタッフと連携し対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、行事予定の発信を行うとともに、避難訓練等の報告も定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			各利用児様の個人情報の取り扱いについては、今後も厳重に注意を払い職員間でも管理方法の徹底を周知する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児様に応じて、ボックスや絵カードで意志表示がしやすいように工夫を行い取り組んでいる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方にも参加していただけるイベントを年2回、法人で取り組んでいる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修などを行い親御様に案内文を送るなど取り組んでいます。内容や取り組みについて発信している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間行事に取り入れ、年2回以上実施している	救出方法は毎年行っていないため、専門の方を呼び講習会を検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		対象となる利用児様については、スタッフ間で情報共有を行い、対応方法も周知している。	予防接種については詳しく聞き取りができていないため、アセスメントの際に注意事項があれば確認を行う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象となる利用児様が在籍していない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に対する定期的な会議や日々の活動の中で危険に繋がる事があれば、職員間で共有を行い対策を講じている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時に居場所確認ができるツール（緊急時伝言サービス）を親御様と共有し周知している。	携帯アプリなどでの共有ツールを調べて、再度親御様に周知することを検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事項があればすぐに対策を行い、書類に残して職員一同が見られるように共有簿にも記載しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員間での研修を行い、日ごろの支援の中で虐待行為につながり得る事はないかを再確認し、話し合いを行っている。また、スタッフのメンタル面にも目を向けている。	日々の支援の中で、虐待と隣り合わせとなりうる行動がある事への危機感を職員一同認識し業務に就く事を徹底する。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		対象となる利用児様に対しては、他の解決策を入念に話し合うことも行っている。また、計画書への記載とともに対応策を説明し親御様に同意を得ている。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	モンキー'Sスクール		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親御様と訪問先の担当者様との連絡を密に取り合うことで普段の様子を共有し、支援内容の考察を行っている。	親御様から要望があった際には、学校訪問や三者面談の場を設け様々な方向からの本児に対するサポートを行うことができている。	新年度になると担任の先生が変わってしまうので、昨年度の本児の様子の共有を怠らざに行い、引き継ぎが出来るようにする。
2	利用児様ごとの得意分野・不得意分野を共有し、特性や性格に合わせて支援内容を提案している。	会社内での別事業で放課後等デイサービスを運営しているため、発達に課題がある利用児様や保護者様、またその利用児に関係する者に対して専門的な観点でのアドバイスを行うことができている。	勉強会や研修を会社内で行うことで支援の仕方が凝り固まってしまうように今後も工夫する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関が主催してくれる担当者会議に参加する機会はあるが、事業所主催での担当者会議を行ったことが無い。	親御様や学校の先生と情報共有する場は設けてるが、他の関係機関との繋がりが薄く情報共有の場を設ける機会がなかった。	支援の向上を図るにあたり、関係機関の方々との連携を図り、様々な意見や支援方法を共有することでより良い支援に繋げる事が出来るように密な連携を図る。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 モンキー'Sスクール

公表日 令和7年 2月 13日

利用児童数 4名

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2						
非常 **	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					



時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2					
	28	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
モンキー'S スクール

公表日 令和7年 2月 13日

利用児童数 4名 回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		1			
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		モンキーズスクール		公表日		R7年 2月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	訪問支援の際に、教材は使用していない。今後、必要であれば、学校と共有し使用する。	現在、必要な場面がないが、今後必要と感じた場合、訪問先の先生と話し合いながら準備を行う。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		各業務においてPDCAサイクルを取り入れ、必ず振り返りを職員で行い次回へと繋げていっている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回より評価を取り入れ、今後の訪問支援の改善に繋げようと考えている。	保護者様の意見を踏まえてその都度、改善を行う。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問支援の際に、職員と訪問支援員とで話し合いをし都度意見交換の場所を設けている。	職場内で上司にも意見を伝えやすい環境づくりに努め、今後も風通しの良い環境整備に努める。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員会は設けていないため、実施していない。	現在、行っていないが前向きに検討している。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社内での研修に参加し、支援に活かせる学びの場を作っている。	社外研修に参加する機会が少ないため、今後は社外研修への参加も積極的に検討を行う。	
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用児様ごとに計画書を作成しており、先生方とも今後の支援方針を話し合い連携した支援が行えるようになっている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書作成をする際に、訪問職員と話し合いを行い、情報共有を行うと共に、児童事に合った計画書の作成を行っている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	現在は、利用児様や親御様の意向を取り入れた上で計画書を作成している。	今後、訪問先の担当者と話し合い先生方の意向も聞いた上で作成を実施する。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書が作成されると必ず確認し、利用児様への統一した支援が行えるようになっている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		インフォーマルな書式を用いて、事業所で作成した様式を使用している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保育所等訪問を行うにあたり、ガイドラインの内容を理解し、支援内容を定め共通理解に務めている。		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問前には、前回の様子・保護者・学校教諭との話を再確認し、訪問支援に従事している。		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問職員と児発管で利用児様の様子や、先生方との話の内容を共有し訪問記録書として書面に残している。		
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問支援先からの話し合いなども支援内容に取り入れて支援に従事している。		
関係 機 関 や	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援内容などは、細かく記録として残し書類の作成をしている。		
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に親御様とモニタリングを行い、計画書の作成を行っている。また、モニタリング期間以外にも親御様からの相談があった際は対応をしている。		
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
関係 機 関 や	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から学校や相談支援員様との連携を図り、サポート体制を整えている。	利用児様に応じて関係機関との繋がりはさまざまであるが、医療機関との繋がりが少ないため、必要に応じて連携を図っていく。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	対象となる利用者様がいなかった為、取り組んでいない。	今後、必要な場合は対応する。	

保護者との連携	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	現在は、不参加となっている。	必要な研修などがあれば積極的に参加したいと考えている。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	利用者様の様子について話し合う時間と作り、情報共有をしている。	
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	研修を行っていないが、家庭での声掛けの仕方や対応方法についての助言や情報提供を実施している。	外部講師の講習の開催から期間が空いている為、外部講師を招いて実践的な学びの場を提供する事を検討する。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	訪問先には必ず事前連絡をし、訪問先での様子もお聞きした上で支援方針を決めている。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	親御様の要望や相談内容、また利用児様の意見も聞きより良く学校生活を送れるよう努めている。	
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	相談があった際は、その都度助言等の対応を行っている。	
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現在は、機械は無く開催していない。	放課後等デイサービスを利用している利用児様が保育所等訪問支援を利用している為、放課後等デイサービスの方で親子で参加しやすいイベントを考え、たくさんの方々に交流していただけるように改善を行う。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申入れがあった場合は、その都度対応しておりスタッフ間でも共有している。	
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	現在、放課後等デイサービスを利用されている方が保育所等訪問支援を利用されている為、放課後等デイサービスにてSNSを中心に情報発信を行い、活動を開示している。	今後、必要な場合は保育所等訪問支援として必要な場合は、発信を行う。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報については、職員一同に指導の元、留意している。	各利用児様の個人情報の取り扱いについては、今後も厳重に注意を払い職員間でも管理方法の徹底を周知する。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	利用児様と親御様の間に入り、お互いの意向の情報伝達を行っている。	
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	訪問先からの相談があった際には、助言や意見交換を行っている。	
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	訪問した際の様子や今後の支援について話し合いを行っている。	支援後、必ず訪問先の担当者と振り返りやその時の状況についてなどカンファレンスを実施している為、振り返りから次に繋げる事ができるようにより一層訪問先の担当者との関係性を築けるよう意識を行う。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	訪問後、保護者と話し合いの機会を設け情報共有を行っている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	必ず情報漏洩しないようしている。 先生方に共有する事項があれば、親御様に了承してもらった上でやっている。	各利用児様の個人情報の取り扱いについては、今後も厳重に注意を払い職員間でも管理方法の徹底を周知する。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	訪問先との話を密接に行う事で、情報交換をし信頼関係をとる事を意識し取り組んでいる。	研修などを通して、さらなる知識を高め助言に繋げる事が出来るように努める。
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	研修などを行い親御様に案内文を送るなど取り組んでいます。内容や取り組みについて発信している。	
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全管理に対する定期的な会議や日々の活動の中で危険に繋がる事があれば、職員間で共有を行い対策を講じている。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット事項があればすぐに対策を行い、書類に残して職員一同が見れるように共有簿にも記載しています。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	会社内の研修に参加し、虐待についての知識や必要な対応方法などを学んでいる。	日々の支援の中で、虐待と隣り合わせとなりうる行動がある事への危機感を職員一同認識し業務に就く事を徹底する。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	現在は、身体拘束が必要な方は在籍していない。	